

おおぐち —ふれあいネットワーク—

社協だより

4月

2011
No. 74

社会福祉法人

大口町社会福祉協議会

〒480-0126

大口町伝右一丁目35番地

大口町健康文化センター2F

TEL (0587)94-0060 FAX 94-0059

IPhone 95-7202

E-mail:chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp http://www.oguchi-shakyo.or.jp

平成23年度が始まりました！今年度も大口町社会福祉協議会は
“みんなが安心して暮らせる福祉（つうに らせる ゃかい）の街づくり”
の実現を目指します。

平成23年度新規事業

「赤ちゃん用絵本」プレゼントします！

社会福祉協議会では、1歳未満の赤ちゃんを対象に絵本に対する興味や好奇心により、五感や想像力の発達と豊かな心が育まれることを願い「絵本」をプレゼントします。赤ちゃんは文字が読めなくても、お母さんのひざに抱っこされて、絵本を開いて語りかけてもらうことで、楽しい時間を過ごすことができます。

絵本との出会いは、
親と子のきずなを結びます。

【対象となる方】大口町にお住まいの1歳未満のお子さま(平成23年4月以降に誕生の方)

【お渡し方法】町の保健師、助産師が訪問時にお渡します。

内

容

赤い羽根共同募金	2
善意だより、社協ピックス、福祉団体紹介	3～5
ボランティア情報局	6～7
大口子育て情報ぎゅっと	8
介護豆知識	9
社協伝言板	10～12



「赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金」
ご協力ありがとうございました

みなさまへ



昨年十月一日から三ヶ月間、「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに共同募金運動が全国一斉に展開され、本町におきましても町民の皆さまをはじめ、学校、事業所、官公署及び各種団体の温かいご支援とご協力により、多大なる成果を上げることができました。

これもひとえに皆さまの地域福祉に対するご理解の賜物と心よりお礼申し上げます。

なお、お寄せいただきました募金は愛知県共同募金会へ納め、募金目標額として計画した事業の事業費として今年度大口町社会福祉協議会に配分され、地域福祉推進の貴重な財源として有効に活用させていただきます。

これからも地域の皆さまとともに歩んでいきたいと願っていますので、ご支援とご協力を賜われますようお願い申し上げます。

大口町共同募金委員会

会長 水野 多三男

平成22年度 共同募金総額 … 3,112,071円

<歳末たすけあい募金>

種別	件数(件)	金額(円)
街頭募金	4	57,900
法人募金	18	98,868
合計	22	156,768

<赤い羽根募金>

種別	件数(件)	金額(円)
戸別募金	5,127	2,498,645
街頭募金	5	63,416
法人募金	3	55,000
職域募金	25	327,651
その他	3	10,591
合計	5,163	2,955,303



町民の皆さま、
愛知北農業協同組合大口支店、
（福）一期一会福祉会 一期一会荘、
（福）愛生福祉会 御桜乃里、大口
町商工会、（社）尾北医師会、尾
北看護専門学校、ヨシツヤ大
口店、アピタ大口店、バロー
大口店、（社）大口町コミュニティ
イーワークセンター、（福）おお
ぐち福祉会、なでしこ、憩い
の四季、大口町民生委員児童
委員協議会、大口町更生保護
女性会、大口町役場、大口郵
便局、大口南郵便局

歳末たすけあい募金に
ご協力いただきました皆様
（敬省略・順不同及び略式掲載）

【共同募金配分金事業】

「寄付ありがとう」が届きました

社会福祉に役立ててほしいと大口町社会福祉協議会にあたたかい寄付が寄せられました。

厚くお礼申し上げますとともに、ご報告いたします。

なおこれらの善意は、大口町の社会福祉のために大切に使用させていただきます。

順不同・敬称略

(11月26日～1月13日お取り扱い分)

寄付者氏名 (敬称略受付順) 内容

■愛知県立丹羽高等学校生徒会

金17,700円

■大口町老人クラブ

金16,000円

■大口町グラウンドゴルフ協会

金5,000円

■ダンスサークル大口ふれ愛

金50,000円

「くまがじんを
かたちにして」

おせち料理をお届けしました

毎年町民の皆様よりご協力いただき共同募金の配分金によって実施しております「年末援助事業」を昨年12月30日、町内の80歳以上のお一人暮らしの方、及び80歳以上で構成されている世帯の方のうちご希望の90世帯の方におせち料理と絵手紙をお届けしました。絵手紙は大口町水彩画クラブの皆さん、配食については民生委員の皆さんにご協力いただきて実施させていただきました。



配布したおせち料理

後日利用された方々より心暖まるお手紙をいただき今後も継続しながら地域福祉事業推進にいつそう努めていきたいと思っております。

いただいたお手紙の一部(抜粋)

ごあいさつ

本日は大変立派な宝物頂戴しうれしくて、うれしくて心から深く深く御礼申し上げます

この厳しい現在にこころあたたまる頂戴もので涙が涙が

「ボレタ

～中略～

大好きなおせち料理

ありがたく。感謝しています

どうか方々の皆様によろしく此のよるこびを

お伝え下さいませ

何卒お世話になります

お願い申し上げます

「西尾張ブロック
ボランティア

フェスティバル開催」

1月30日、岩倉市ふれあいセンター及び岩倉市総合体育文化センターで、西尾張16市町村のボランティア

が集まり、「高めよう地域力・つなげて広げて支えあう」をテーマに「西尾張ボランティアフェスティバル」が開催されました。

午前中は、講師 伊東眞理子氏により「エイジレス社会を求めて～年齢を重ねるごとに成功する～」をテーマに講演会が開催されました。午後には①「音訳・朗読を知ろう」、②「ボランティア活動を継続していくために」、③「小地域で高齢者サロンを進めるためには」、④「NPO法人による精神障がい者への支援と地域との関わり」という内容の4つの分科会に分かれ、情報交換会、ディスカッション等が行われ、大変有意義なフェスティバルとなりました。



午後の分科会でのひとコマ

【ボランティア研修会開催】

1月14日にボランティア連絡協議会による「ボランティア研修会」が実施されました。

今年度、ボランティアのみなさんは「災害・災害時の要援護者支援」をテーマに学習してきました。研修会では「災害時」にどのようなことができるのか、「や」災害時の「公」と「民」の違いを勉強してきました。

午前中は「公」を学習し、「陸上自衛隊春日井駐屯地を見学」しました。災害時に使用される災害救助器具類を実際に体験使用したり、災害時に陸上自衛隊が派遣される流れ等講義を受けました。

午後は春日井市社会福祉協議会を訪問しました。「民」の立場から、春日井市災害ボランティアコーディネーター連絡会との意見交換会・交流会を行いました。実際に豪雨災害時に現地に赴いた方々から貴重な現場体験や教訓等をお聞きし学ぶことができました。



【災害救援ボランティア コーディネーター 養成講座開催】

1月22日から2月19日まで5日間、にわたり「災害救援ボランティアコーディネーター養成講座」を開催しました。

1月22日は町の防災部局から講師をお招きし、「防災について」と題し災害の基礎知識や地域での活動まで細かくご講義いただきました。また、社会福祉協議会による「災害ボランティアセンターについて」の講義や「豪雨災害の被災者支援」のDVD上映、災害救援ボランティアの安藤 巖氏による講義や服部みどり氏の実体験に基づく講義、ほか、消防団での体験談など様々な方面から災害とボランティアについて学びました。



1月29日は丹羽消防署による「普通救命講習」を実施しました。受講者は4グループに分かれ、DVDを見た後、実地指導を受け、反復訓練を行うことにより「記憶に残る」実りある訓練となりました。また、後日、丹羽消防署から訓練の「修了証」が交付されました。



2月5日は災害救援ボランティアのみなさんの指導で、「もし町内で災害がおきたら」をシミュレーションする図上訓練D-I-Gを行いました。後半は愛知防災リーダー会・西尾張ブロック代表の伊藤善之氏をお招きし「災害救援ボランティアコーディネーター」についてご講義いただきました。



2月12日は防災施設見学として尾張旭市の「愛知県消防学校」で県の防災体制・震度体験・煙道体験・初期消火訓練をしました。県の防災体制についての講義では、愛知県の地盤・液状化現象が起こりやすい地域など、地質学的な講義と身近にできる防災・減災として家屋の耐震強度の補強・家具等の転倒防止について学習しました。



2月19日は今まで学んだ経験を元に屋外でテント・机等を設置して実際に災害ボランティアセンターの立ち上げ、運用訓練を行いました。最後に受講生に修了証書を授与しました。



【社会福祉協議会研修会開催】

2月10日、大口町健康文化センター多目的室で「社会福祉協議会研修会」が開催されました。麓聡一郎先生の熱の入った講義に圧倒され、会場は熱気に満ち溢れました。



福祉団体紹介

【大口町身体障害者福祉協会】

大口町身体障害者福祉協会は昭和33年7月に発足した団体で、障がい者の福祉厚生、障がい者の文化・スポーツ等の振興、町内の障がい者相互の交流や連絡調整をしています。

◆主な活動

- ①障がい者スポーツ大会への企画参加
- ②郡ふれあい事業への参加
- ③健康増進事業の企画・実施

【大口町心身障害児(者)親の会】

大口町心身障害児(者)親の会は昭和54年に4人の親たちが「知的・身体に障がいをもつわが子の幸せを願い、地域で生活できる仕組みの充実を求めよう」と仲間の人たちに呼びかけて発足した大口町内在住・在勤の心身障がい児(者)を保護・養育している保護者で結成された会です。心身障がい児(者)の福祉の増進のため、会員相互の親睦・連絡調整等を行っています。

今年度は、障がいがあっても地域の中でその人らしく暮らしていけるように、昨年11月から隔月に会員が集まり2～3時間にわたり、親の思いと子ども達の思いを大切にしながら意見交換等勉強会を進めてきました。それぞれ考えを出しきり、ケアホームを見学に行くことになりました。2月18日金曜日に行政の福祉関係者と親の会会員合計32名で豊明福祉会運営の井の花ホーム・授産施設等を見学しました。実際に生活している方たちの様子をお聞きし、親が子離れする時期、また生活リズムをしっかりと身に付けさせる重要性について学習しました。施設に通う方たちが、市役所の食堂「スマイル」や施設内喫茶店「マーメイドカフェ」で生き生きと働いている姿が印象的でした。本町でも

ケアホーム設立に向け、勉強会・見学会を継続的にやっつけていきたいと思えます。



【大口町遺族会】

大口町遺族会は戦後間もなく、日露戦争以来の本町出身戦没者300有余名の慰霊及びその遺族の福祉増進と平和の尊さを伝承する事業を実施しています。

◆主な活動

- ①遺族援護として護国神社へ参拝
- ②平和記念講演会の開催

【大口町母子寡婦会】

大口町母子寡婦福祉会は戦後まもなく母子福祉会として戦後遺児のための支援を行い、のちに母子寡婦福祉会となりました。母子家庭及び寡婦の福祉向上に努めることもに会員相互の親睦生活意欲の向上を図ることを目的としています。

◆主な活動

- ①新入学激励事業
- ②各種イベントの参加
- ③会員相互の交流会・処遇向上及び生活相談

【尾北地域精神障害者家族会】

しらゆり会(大口支部)

こころの病を持った人たちの中には健康な人とほとんど変わらない生活を送っている人もいますが、多くの人は「仕事」が十分にできない「人との付き合い」が難しい「家族」がうまく暮らせないなどの生活上の困難を抱えています。家族も生活上の困難と一緒に支えなければならぬため、その影響を受けて非社会的になりがちです。

精神障害者家族会はこのような家族が助け合い、力を合わせて自分たちの生活を明るくし、こころの病に苦しむ当事者の回復を助け、社会復帰できるように活動する会です。

しらゆり会は江南保健所管内の障がい者の家族で作られた尾北地域の精神障害者家族会で昭和51年に発足し、活動を続けています。

大口支部(大口しらゆり会)は奇数月の第1土曜日、午前10時から大口町健康文化センター2階のボランティア室で例会を行っています。



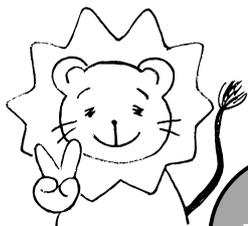
ボランティア 情報局



2011年1月8日(土) 新成人がボランティアで主催した地域貢献事業「笑顔満彩」がおこなわれました。9月から、10回以上もの打ち合わせを重ね、遅い日は夜中の3時まで練習をし、当日を迎えました。もう、3カ月も前のイベントですが、新成人として初ボランティアの声をお届けします～。



さあ～ 始まるよ～



ボ ラン ティ ア

初めは不安だったけど、みんなでやろうという気持ちがかんたん高まってきた～。

笑顔満彩 <small>Smile by Smile</small>	
16:50~16:55	ダンスマン
16:55~17:05	葉花
17:05~17:15	プチベリーズ
17:15~17:25	テアレ
17:25~17:35	春
17:35~17:45	キューテベリーズ
17:45~17:55	つぼみ
17:55~18:05	さくら連
18:05~18:15	志響
18:15~18:25	ベリーズ
18:25~18:35	歩〜あゆみ
18:35~18:45	あさぎ
18:45~19:05	総踊り

当日のプログラムです☆



スタンプラリーのハンコも手作りです～

ボランティアって意識は全然なかったけど、これもボランティア活動になるんですね～。

最初の打ち合わせはシーンとした中から始まったけど、だんだん役割がわかってきたよね。

ちゃんとできるかとても心配だったけど、成人実行委員会OBの「桜口魂(おおぐちだましい)」の人たちのおかげで、頑張ることができました。

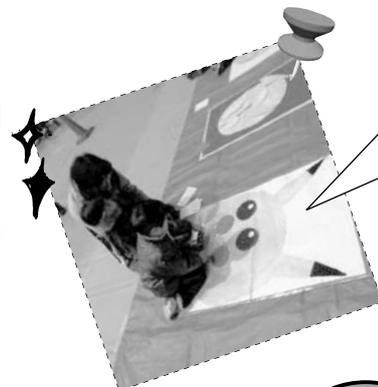


明日の成人式美容院の時間が、4時なの～

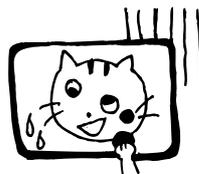


ダンサーの方も、写真撮ろうよ!

「笑顔満彩」は、見るコーナーにダンス、食べるコーナーに温かいコーンスープを、遊ぶコーナーでは福笑い、ボーリング、作るコーナーにプラバン。その他、写真撮影やらくがきコーナーもあり、家族みんなで楽しめるイベントでした。



手作りピカチュウの福笑い
~じょうず!



二十歳の

温かいコーンスープを
どうぞ~



参加したダンスチームからは、今年成人式を迎えられる方たちを、ダンスでお祝いでき、イベントも盛り上げることができてうれしかった~の音が。



最後の総踊りは、みんなで~♪



大人気プラバン!



■編集後記■ 取材・作成／編集ボランティアOZ

昨年、大口中学校の周りに植えられたトキワマンサクの木、白とピンクの木が交互に植えられた垣根は、春には花を沢山咲かせてまるで紅白の幕を張ったよう。“綺麗”と足を止められた方もいたのではないのでしょうか。新学期が始まり、新しい生活に胸弾ませ入学する新入生を、今年も優しく祝福して迎えてくれることでしょうか。桜が咲き終わった後も暫くの間咲いていますので、まだご覧になっていない方は、一度大口中学校へ足を延ばされてみてはいかがでしょうか。

≪OZメンバーSから「編集後記は、大口中学校のトキワマンサクにしようと思うの~」とメールをもらったBは「大口中学校の常盤万作さんって誰?何した人?」と...目が点になったSでした。大口中学校に万作先生はいませんのであしからず≫





大口子育て情報

ぎゅっと

【編集】特定非営利活動法人
「まみーぽけっと」

【HP】
<http://www.geocities.jp/mammypocket/newpage1.htm>

こんな時は？

子育てをしていると、いろいろと心配なことがありますね。大抵は、杞憂で終わってしまうものです。もし、

気になることがあれば、一人で悩んでいないで、専門機関に相談してみましょう。

《 相談機関の紹介 》

家庭児童相談

児童を取巻く環境の変化により、問題も多様化しています。そこで、子どもの性格や癖、しつけや育児等、その問題の解決の手助けとして、月1回、家庭児童相談員が相談に応じます。

ほほえみプラザ1階 **福祉こども課 ☎94-1222**

児童相談

児童に関するすべての問題について、専門家が総合的に相談に応じ、必要に応じて医学的立場や心理的立場から判定や指導をおこない、学校や行政機関等と連絡調整を図りながら、問題の解決にあたります。

一宮児童相談センター ☎0586-45-1558

児童相談所・全国共通ダイヤル ☎0570-064-000

(お住まいの地域の児童相談所に電話がつながります)

発達支援室「ライトハウス」

ことばが遅い、かんしゃくが激しすぎる、迷子になる、集団生活でお友だをすぐにたたくなど、困った傾向のある主に就学前の幼児のための療育をしています。発達面で気になることがありましたら、一度ご連絡ください。

つくしこどもクリニック ☎95-0600

SHIPおおぐち

SHIPおおぐちは、障がいのある人も、ない人も、誰もがいきいきと暮らせる街づくりを目指す団体です。障がい者の親と支援者が中心となって立ち上げました。毎月第3日曜日に、遊びを通じて、ルールや友達との関わりを学ぶ「あそびの学校 キラ☆キラ」を行っています。

SHIPおおぐち ☎090-8472-8882(木野)

たんぼぼ教室

月2回、子どもの発達や子育て等に心配を持つ親子が、遊びを中心とした様々な場面を通して、親子に応じた関わりを学ぶ教室です。

健康生きがい課 ☎94-0051

母子通園「ぱんだ教室」

就学前の心身に発達の遅れや心配のある児童が、保護者と一緒に通園し、日常生活の自立に向けて親子や他児とのふれあいの場を通し、心身の発達を助長することを目的に実施する町単独の療育事業です。

母子通園「ぱんだ教室」 ☎95-4800

ことばの相談室 ホワイトベル大口分室

子どもの言葉の遅れやどもりで心配のある方の相談室です。1回40～60分の訓練を行っています。

☎95-7744 (完全予約制)

*地域の民生委員・児童委員さんも相談のつてくれます。

まみーぽけっとからのお知らせ

スタッフ募集!

毎週木曜日に南児童センターで開催している「ふらっとルーム」のお手伝いをしてくれるスタッフを募集しています。調理の補助、受付など。子連れ大歓迎!

土地・建物探しています!

喫茶&事務所として使える土地、または建物を探しています。情報をお寄せください。



ベッドや布団で睡眠をとることは体を休めたり、翌日へ英気を養うためにとても重要です。そして、朝目覚めれば生活の起点となります。

一日のスタートは起床してから始まります。布団・ベッドから起き上がることは、日常生活に欠かせない動作です。

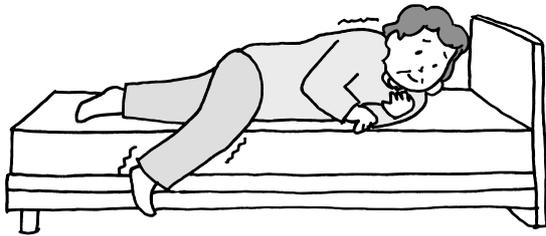
ひとりで起き上がることが出来なくなった場合など、困難を感じたら介護用電動ベッドへの移行を考えてみませんか。

今回の介護豆知識は、介護用電動ベッドについてご紹介します。

布団・普通のベッドから介護用電動ベッドへ移行する判断基準

何かにつかまなければひとりで起き上がれなくなった。ベッドの高さが変えられないため不便だ。

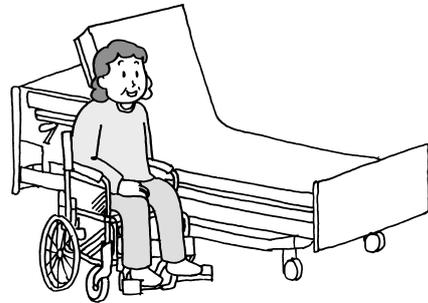
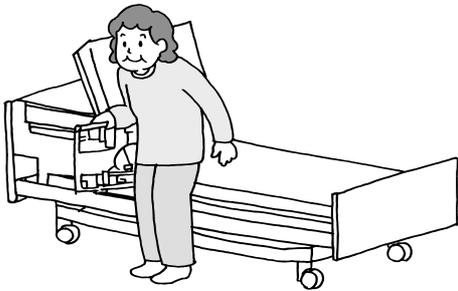
布団からの立ち上がりに以前より時間がかかるようになり、介助が必要になった等感じたことはありませんか。



介護用電動ベッドを利用すると

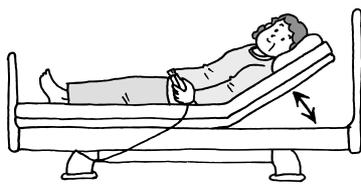
介護用電動ベッドにはモーターがついています。モーターの数により使える機能が違います。

ベッドの高さ調節や背上げ、脚上げ機能が連動して同時に使えるものもありますので、起き上がりの動作がやりやすくなります。付属品の介助バー（手すり）を使うと立ち上がり、車いすへの移乗も安定します。さらに、介護する人にとっても負担の軽減になります。

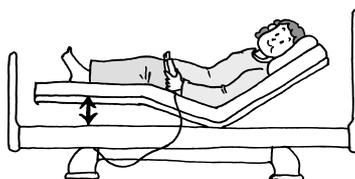


介護用電動ベッドの機能について

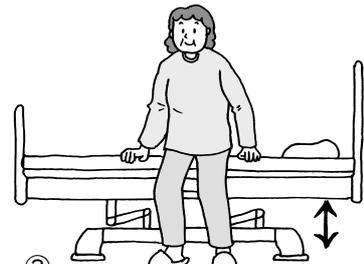
- ① 背上げ機能…モーターで背中部分を起こし、起き上がりの動作を助けます。
- ② 脚上げ機能…背上げをしたときに体が脚の方へずれてしまいます。それを防ぎます。
- ③ 高さ調節機能…床高の高さを変え立ち上がりの動作を助けます。



①



②



③

介護用電動ベッドを利用するにあたって、居室の家具・出入り口の開閉状態等設置する場所を利用しやすいように考慮して、日常生活を快適にまた、活動的に送れるようにしたいものです。

介護用電動ベッドは、使い方を誤ると大きな事故になります。正しい操作を心掛け安全に十分気を付けましょう。

社協伝言板

【心配ごと相談所開設のご案内】



町民みなさまの「心配ごと」「悩みごと」相談に経験豊かな相談員が応じます。待たずに相談ができる電話予約も可能です。

弁護士相談は完全予約制を行います。まず☎94-00660で予約してください。5月の第1水曜日は連休に力かるため第1金曜日に開設します。

内容 月	県女性相談員 県母子自立支援員 10:00-15:30	知的相談員 身障相談員 13:30-15:30	県女性相談員 10:00-15:30	高齢者・障がい者 の弁護士相談 13:30-16:30
4月	6日(水)	13日(水)	20日(水)	27日(水)
5月	6日(金)	11日(水)	18日(水)	25日(水)
6月	1日(水)	8日(水)	15日(水)	22日(水)
7月	6日(水)	13日(水)	20日(水)	27日(水)
8月	3日(水)	10日(水)	17日(水)	24日(水)
9月	7日(水)	14日(水)	21日(水)	28日(水)
10月	5日(水)	12日(水)	19日(水)	26日(水)
11月	2日(水)	9日(水)	16日(水)	30日(水)
12月	7日(水)	14日(水)	21日(水)	27日(火)
1月	4日(水)	11日(水)	18日(水)	25日(水)
2月	1日(水)	8日(水)	15日(水)	22日(水)
3月	7日(水)	14日(水)	21日(水)	28日(水)

【ボランティア活動保険】

自発的な意思に基づき、他人や社会に貢献する非営利のボランティア活動を行っている個人、またはボランティア団体、特定非営利活動法人(NPO法人)の方々が加入できます。

掛け金…250円～470円
(おひとり様あたり)

※うち100円は社会福祉協議会から補助されます。

補償期間…平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

対象となる活動

- 1…グループ等の会則に則り企画、立案された活動
- 2…社会福祉協議会に届け出た活動
- 3…社会福祉協議会に委嘱された活動
- 4…法人格を有するNPO活動(非営利)

※昨年度まで4月20までに加入した場合、4月1日まで遡及して保険適用となりましたが、本年度からこの「遡及適用」が廃止となりました。4月1日から活動を計画しているみなさまは前日までに必ずお申し込みください。

お申し込み・問い合わせは

大口町社会福祉協議会
ボランティアセンターまで
☎94-00660

【ボランティア行事保険】

ボランティア行事を実施する主催者ならびにその行事の参加者を被保険者として愛知県社会福祉協議会が一括して損害保険会社と契約を締結する団体契約です。引き受け保険会社は朝日火災海上保険株式会社になります。

掛け金…A型は30円

B型は240円～360円

※本保険は社会福祉協議会からの補助はありません。

加入手続…事業実施日の前日までに料

金を添えて社会福祉協議会へお申し込みください。直前ではなく、余裕をもってお申し込みください。

対象行事…加入申込者が主催者となっ

て行うボランティア活動に関する行事

備考…A型は1日の参加者20名以

上の掛け金から申し込みます。B型の申込みは名簿が必要になります。

お申し込み・問い合わせは

大口町社会福祉協議会まで
☎94-00660

【新規事業 緊急告知!】

障がい者能力活用支援事業

「車いすシエフがやってくる」

イタリア・スペインで4年間の修行生活を過ごしたシエフによるイタリア料理教室を開催します。

料理をすることは大切な運動であり、脳の活性化にもつながります。この機会に料理未経験の方、口ごろ出来合いのお弁当ばかり食べている方、料理を勉強してみたい方など、たくさんのお申込みをお待ちしています。

- 開催日 平成23年6月18日(土)
- 開催時間 午前9時から午後1時
- 開催場所 健康文化センター1階
栄養指導室

- 受講料 1,000円
- 定員 先着16名様

- 申込期間 (町内在住・在勤の方)
5月9日(月)から
6月10日(金)まで

- その他 エプロン・筆記用具をご持参ください

- 申込み先 大口町社会福祉協議会
電話 94-0060



お祝い事や香典のお返しの一部を、福祉のために役立ててみませんか？

お祝い事や香典のお返しは、品物選びに時間と費用がかかる上、品物によっては必ずしも相手方に喜んでいただけるとはかぎらないようです。それならば、お返しの一部を町の福祉のために役立ててみてはいかがでしょうか。

ご寄付いただきました方には、下記の礼状を印刷させていただきます。

香典返しの一例

謹啓 皆様益々ご健勝のこととお喜び申し上げます

先般 ○○○○の葬儀に際しましてはご多忙のところ遠路御会葬賜り御香典ならびに御丁寧なる御供え物をいただきました誠にありがとうございます

つきましては 忌明に当たり 親しく拝顔の上御挨拶申し述べるところでございますが 略儀ながら書中をもちまして御礼申し上げます

なお 賜りました御芳志につきましては故人の遺志により勝手ながら大口町社会福祉協議会に寄付させていただきます 御礼にかえさせていただきますので ご了承くださいますようお願い申し上げます

平成 年 月 日

喪主 ○○○○ 謹言

謹啓 皆様方におかれましては 益々ご清祥のこととお喜び申し上げます

このたび ○○○○様から御香典返しに替えて 大口町社会福祉協議会の福祉事業のため多額の御寄付を賜りました

御家族の社会福祉に寄せられるお心に深く感謝申し上げますとともに皆様方の御芳情に添いますよう地域福祉事業の推進に努力してまいりますと存じます

ここに略儀ながら書中をもちまして 御礼の御挨拶とさせていただきます

平成 年 月 日

謹言

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会

会長 舟橋宣成

ご存じですか？社会福祉協議会の「福祉車両」貸出しサービス

車いすに乗ったまま乗り込める福祉車両

を地域の方々に貸出ししております。

車いすを利用している方が外出の際、必ずといっていいほど、“どうやって出掛けようか？”とか、“乗用車の乗り降りが大変だ～！”と思われる方がみえると思います。

こういった時は（外出の際は）、社会福祉協議会の福祉車両を使用してみてもいいですか？

【利用料金】

- ① 大口町にお住まいの車いす利用の方、及び大口町にお住まいの方の親族が大口町に滞在し必要とするとき
- ② 貸出しを受けた際、車両の保管場所を確保できる方
- ③ 運転手を確保できる方

【貸出期間】

- ① 2日以内（週末・祝日についてはお問い合わせください）

【利用料金】

- ① 走行距離10km未満 100円
- ② 10km以上20km未満 200円 ※20km以上は10km単位で100円加算



社会福祉協議会の「福祉車両」

【その他】

- ① 貸出し車両は軽自動車です。
- ② 申請の際、認印・運転者の運転免許証を提示いただきます。
- ③ 車いす乗降操作は事前に操作説明をさせていただきますので安心してご利用いただけます。

車いす・松葉杖の

貸出しサービス

大口町民の方を対象に、車いす・松葉杖を貸出ししております。

たとえば、こういった使い方があります

旅行に出掛けたいが、現地での行動が不安という短期間の利用から、骨折等のケガで車いすを使いたいという長期間の利用の方まで

【ご利用要件】

- ① 使用する方が大口町に居住していること
- ② 大口町に居住する者の親族等が、大口町に滞在し必要とする時
- ③ 一ヶ月以上の利用の場合は、一ヶ月毎の更新手続きの出来る方

【料金】

1週間を超えてのご利用の場合は、年間500円の維持管理費をご協力いただきます。

【備考】

入院や施設入所のためのご利用はできません。一年以上ご利用の方の車いす等の修理は実費となります。